

「令和5年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート（No.4）」

■ 研修時期・研修先

時期：令和5年6月30日（1日）

研修先：農事組合法人中沢農産（八幡平市）

■ 研修生について

将来、新規就農を考えるDさん。作目が決まっていないので、作目選定のヒントを得たい！とお申込みいただきました。

■ 研修先の概要

八幡平市中沢地区の集落営農組織が、平成25年4月に法人化しました。

翌年度から農地中間管理事業を活用して農地を集積し、現在は約140haの農地で水稻70ha、そば35ha、麦5.5ha、にんにく8.5ha、加工用トマト約3haを生産しています。

専用機械の導入などにより、労働時間を削減し、作業の効率化を図っています。



■ 研修の内容

経営概要の説明、就農相談、にんにくの乾燥前の準備作業（根切り等）、県農業改良普及センター担当者との面談など

■ 研修の感想

- ・ 農作業の一部分ではありますが、貴重な体験ができ、農業への理解が深まりました。
- ・ 従業員の皆さんが楽しそうに作業する様子を見て、農業に関わりたい気持ちは一層強くなりました。
- ・ 今回、様々なお話を聞いて、就農にあたっては初期費用をなるべく抑えたいと感じました。作目はトマトやハウレンソウがいいかと思い始めましたが、他にも気になるものがあり、迷うところです。
- ・ 県の農業改良普及センターの方からは、市内の新規就農事例では露地ピーマンやリンドウが多いと教えていただきました。

また、作目選定のポイントについては、作目との相性や、作業のリズムを把握することが大切であり、自分がやりたいと思える作目を見つけられるよう、実際に体を動かしながら考えることをアドバイスされました。



■ 今後の目標等

作目の選定には、もっと判断材料が必要だと感じました。この研修で得た情報やアドバイスを参考に、農業法人で働くことなども視野に入れ、体を動かしながら考えていきます！